

31.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式10 別紙4

病 院 施 設 番 号 : 030471 臨 床 研 修 病 院 の 名 称 : 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有:○ 無:×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
1	救急部門	脳神経外科		法里 高	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	院長	38	常勤	○	平成17年度近畿7 ロック医療技術研修 平成18年1月20日	4
2	内科	循環器内科		原田 佳明	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	内科系診療部長	36	常勤	○	平成21年度近畿7 ロック 臨床研修指導医養成講習会 修了平成22年1月30日	4
3	外科	麻酔科(部門)	脳神経外科	井上 靖夫	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	統括診療部長	27	常勤	○	令和3年度第15回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
4	外科	外科		熊野 達也	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	外科部長	21	常勤	○	令和4年度第16回京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了 令和5年2	4
5	精神科	精神科		山野 純弘	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	精神科部長	23	常勤	○	平成20年度西日本地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」第一回平成	4
6	精神科	精神科		松岡 照之	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	臨床研究部長	18	常勤	○	平成28年度第10回京都府立医科大学付属病院指導医講習会終了平成29年2	4
7	小児科	救急部門	小児科	小松 博史	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	副院長	35	常勤	○	平成20年度近畿7 ロック 臨床研修指導医養成講習会 修了平成21年1月24日	1・4
8	産婦人科	産婦人科		野口 敏史	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	産婦人科医師	36	常勤	○	平成26年度第8回京都府立医科大学付属病院指導医講習会終了 平成27年2月	4
9	内科	脳神経内科		木村 正志	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	脳神経内科部長	17	常勤	○	令和4年度第16回京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了 令和5年2	4
10	麻酔科(部門)	麻酔科		前田 祥子	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター	麻酔科医長	16	常勤	×		

31.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式10 別紙4

病院施設番号： 030471 臨床研修病院の名称： 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター

担当分野①	担当分野② (兼任及び その他の 診療科)	専門分野	選択科目 の有無	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	勤務形態 (常勤or 非常勤)	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	受講した 指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
-------	--------------------------------	------	-------------	----	----	----	------------	-----------------------	------------------------------------	------------------	----------------------------------------------------------------

※ 「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療分野、病理（CPC）及びその他を記入すること。

※ 「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。

※ 「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴7年以上」もしくは「7年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。

※ 欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。